

ミカンの木のオーナー制、加工品製造 事業の拡大に意欲

(株)陽だまりファーム・浜松市



ミカンジュースを手に笑顔の高橋代表

【静岡支局】浜松市北区三ヶ日町の株式会社陽だまりファームではミカンやウメ、ブルーベリーを栽培。生果のほか、ジュースやジャムなど加工品の販売にも力を入れる。高橋博之代表(47)は東京でエンジニアをしていたが、2004年に地元之三ヶ日町で就農。19年5月に法人化し、規模を拡大しながら現在は園地約11haを従業員4人と管理している。

4年前からは国内では生産量が少なく希少なフラッドオレンジの栽培にも取り組む。現在は園地20haで2

3tを収穫する。イタリア原産のかんきつで果皮と果肉が赤く、コクがあり爽やかな酸味と濃厚な味わいが特徴だ。高橋代表は「栽培農家が少なく手探りで栽培だが、魅力を知ってもらい需要増につなげたい」と話す。

また「体験への需要が高まっている。体験を買ってもらうビジネスモデルをつくりたい」とミカンの木のオーナー制を実施。木の管



陽だまりファームのQRコード

理は陽だまりファームの従業員が行い、収穫期にはオーナー自身が収穫して持ち帰ることができるシステムだ。見晴らしの良い園地でミカンの収穫ができるため、人気となっている。家族や友人同士はもちろん、法人の福利厚生などで今年は70件ほどの申し込みがあるという。

国内だけでなく海外への販路拡大にも目を向けており、イベントへの出店や交流サイト(SNS)の積極的な活用を実施。商品の知名度向上を図り、ミカンジュースなど加工品の輸出につなげている。

「若い従業員が多いのでそれぞれが考え、いろいろな意見を出し合って事業に取り組んでいる」と高橋代表。「ついつい手が伸びてしまふ自然のおいしさを味わえるミカンを、お客さまに届けられるよう、さまざまなことにチャレンジしていきたい」と今後の事業拡大に意欲を示す。

▽ホームページ(HP)
https://www.hidarifarm.biz/
(菅沼、杉本)